

令和2年度 校内研修全体計画

平戸市立度島小学校

校内研究担当

1 研究主題

「自分の考えを表現し、互いに学び合う子どもの育成」

～算数科学習における学び合い活動の工夫を通して～

2 主題設定の理由

(1) 本校の教育目標から

本校では、学校教育目標「郷土『度島』に誇りを持ち、たくましく未来を切り拓いていく、心豊かで活力ある子どもの育成」の下、家庭・地域と連携と共に、徳・知・体の調和のとれた人間性豊かで、社会に貢献する児童の育成に取り組んでいる。これらの目標を達成するために、本年度の重点目標として「豊かな心を育てる」「確かな学力をつける」「体力と耐力をつける」を掲げている。特に、「確かな学力をつける」ために、主体的・対話的で深い学びを実現するための授業改善や、新学力向上のための3つの提案の一つでもある「できた」「わかった」の笑顔あふれる授業の工夫、小中併設校の特色を生かした学力向上に向けた取組等により、自らの未来を切り拓き、心身ともにたくましく生きる力の育成が必要だと考える。

(2) 児童の実態と昨年までの研究から

本校は、全校児童28名の小規模校である。保育所から一緒に過ごしてきた児童が多いため、みんなで活動したり協力したりする姿が日常的に多くみられ、良好な人間関係を築くことができている。また、小中併設校であるため、行事等で中学生とも関わり、9年間の成長を身近に感じられる。

本校では、平成30年度から「自分の考えを表現し、互いに学び合う算数科学習指導法の研究～学び合い活動の工夫を通して」を研究課題として、算数科の指導研究を進めてきた。考えを表現するための手立てを講じたり、複式授業における間接指導の工夫などを行ったりしてきた。しかし、学力調査において、一定の成果をあげているものの、学び合い活動における思考の深まりが不十分だったり、極少数での複式授業の形態等

に課題が残ったりした。また、今年度は、完全複式となるうえ、次年度は大幅に職員が入れ替わることが予想されるため、複式授業の基礎を定着させる必要があると考えられる。

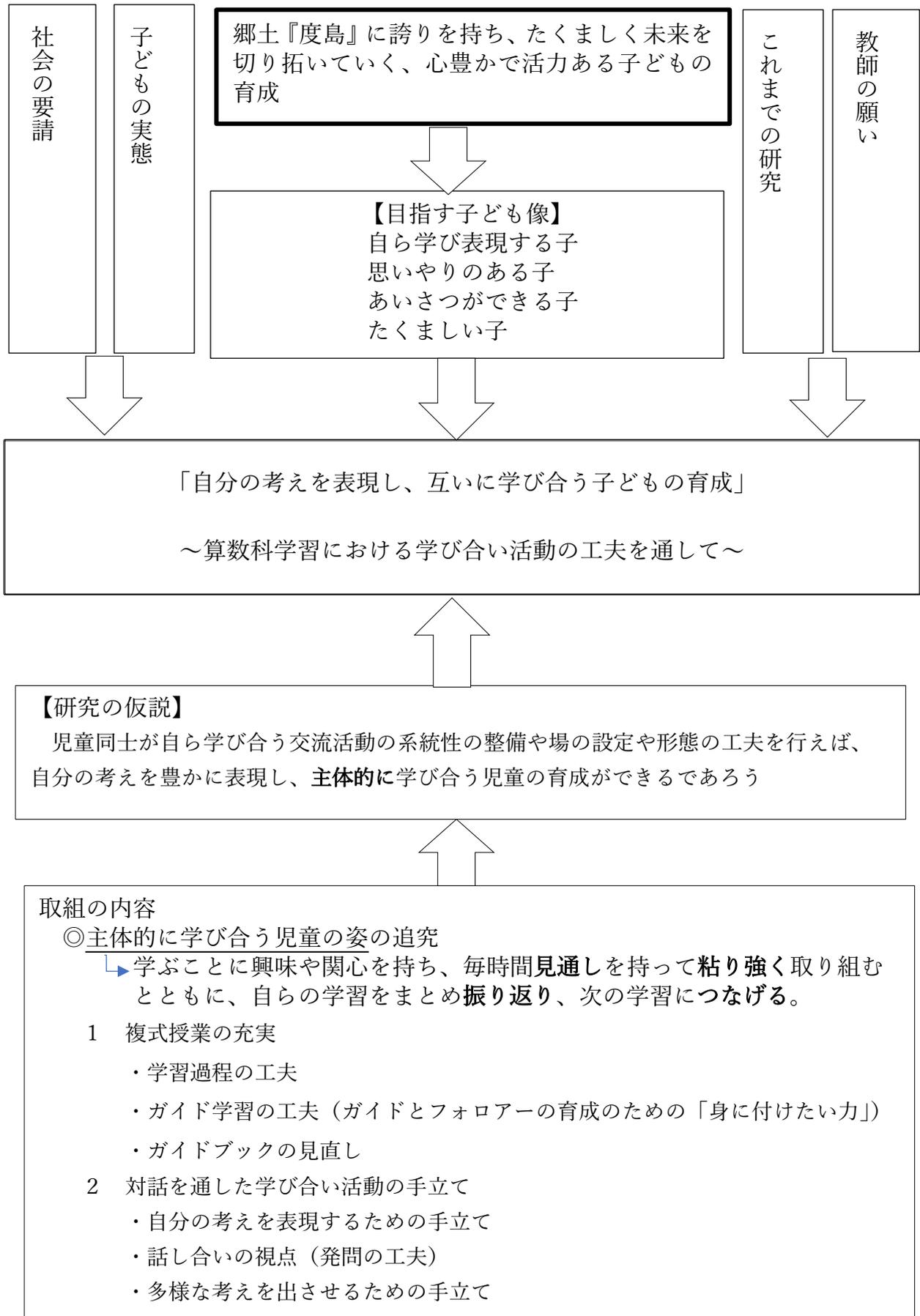
このような児童の実態や昨年度までの研究の課題をふまえ、本校の課題を解決するために、複式授業を通して、児童同士で学び合う交流活動の系統性の整備や場の設定や形態の工夫を行えば、自分の考えを豊かに表現し、意欲的に学び合う児童の育成ができるであろうと考え、本主題を設定した。

3 研究内容

「問題解決的な学習過程を通して、自分の考えを表現し、互いに学び合う」授業づくり

- ①複式授業の充実
- ②対話を通じた学び合い活動の手立て

4 研究構想図



5 昨年度の研究の実際

【学び合い活動における目指す子どもの姿】

	間接指導において	直接指導において
高学年	<ul style="list-style-type: none"> ・互いの意見の共通点・類似点・相違点に着目し、質問や意見を出し合い、加除修正ができる。 ・よりよい方法を考えることができる。 ・図やグラフ、表を活かして、「事実」「方法」「理由」を説明することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・互いの意見の共通点・類似点・相違点を関連付けて考え、多様な意見を整理し、自分の考えを広げたりまとめたりすることができる。
中学年	<ul style="list-style-type: none"> ・友達の考えを聞いて、分からないことを質問したり、意見を言ったりしながら、話し合いを進めることができる。 ・自分に合った解決方法を選択し、終わったら別の方法でやってみることができる。 ・友達と自分の考えの違いの理由を説明し、訂正したり、付け加えたりすることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・互いの意見の共通点・相違点に着目して、考えをまとめることができる。
低学年	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の考えを説明することができる。 ・学習リーダーの進行に沿って、順番に発表しあうことができる。 ・キーワードを使って説明する。(あわせて→たしざん) ・自分の考えの理由を説明する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・気付いたことを相手に伝えたり、分からないことを質問したりすることができる。

【共通理解】・・・中学校も含めて

- ・「めあて」「まとめ」カードをそろえる。
- ・めあては青、まとめは赤で囲む。
- ・チョークの色（黒板）・・・白と黄色で書く。赤と青は基本的にはラインを引く色。
- ・研究授業をお互いに参観する。できれば研究協議にも参加してもらおう。
- ・研究授業以外でも、空き時間等を利用して、お互いの授業を見合う。事前に一言伝える。